

夢奇房 第10回公演 道化の歩いた道

CAST

ルル(道化の村の少年):齋藤 友紀子
ヒナ(ウラ道に迷い込んだ人間の女の子):館野 桃実
ルルを育てた高齢の道化:れおな
セキエン&ツキマド(猫又):戈 文来&こりす
トツメ&ニカク(小鬼):本坊 健太郎&鈴木 大史
酒場に来た人魚:江森 美由貴

クラウンOZ(夢奇房の世界を自由に旅する道化):長田 昌子
クラウンかい(OZの幼馴染の道化):佐久間 智嗣
クラウンイット(道化の雑貨屋):市川 卓
ピュータ(止まつたままのオルゴール人形):鈴木 千慧
デルカ(酒場の店主):三原 雄
オドネル(オオカミ男):高島 潤
アメ&ハレ&ロンビビ(天気の精靈とウサギ):
永井 愛実&今泉 栄理&大田 雄也
フシミ(白狐):関根 悠一朗
帆ノ夏(華の精靈):森藤 麻衣子
ニワ&ニハ(ニワトリ):もったり&たくぞー
ラニイ(妖精):村田 奈央
クラン(妖魔):大江 翔
ルシット(悪魔):武井 尚志
木ノ芽(萌芽の精靈):島形 麻衣奈
オオヒト(森の護り人):秋山 圭介
トモリビ(夜光虫):KiM

夢奇房とは

マジックやジャグリングを主体としたエンターテインメントチーム、それが「夢奇房」です。スポットライトの中で見つけた熱い心を武器にして、最高の舞台を目指します。全ての観客に、夢と希望の別世界を感じてもらえるように…。
メンバーはマジックやジャグリング、そして舞台を愛してやまない者たちで構成されています。現在は社会に出て仕事をしている者、大学院などで勉学に励んでいる者…。境遇は様々ですが、皆が共通して持つ想い。「舞台が好き」であること。メンバー全員がその想いを胸に、活動しています。誰がスポンサーでもない、メンバーそれぞれが主役。そんな団体です。

過去の公演

- ①第1回公演／2004.3.6
然～ありのままの…～
- ②第2回公演／2005.2.26
凛～静かな音の、小さな夜に～
- ③第3回公演／2006.2.26
瞬～幕の狭間のほのかな刹那～
- ④第4回公演／2007.3.4
シートと黄金の紙
- ⑤第5回公演／2008.3.9
Fruit on the Wedding Cake
- ⑥第6回公演／2009.2.22
ゆめ戯草子～ふたりの浦島おかし話～
- ⑦第7回公演／2010.2.28
サーカスの魔法は街を包んで
- ⑧第8回公演／2011.2.27
常夜の月花
- ⑨第9回公演／2012.3.4
夢どろぼうの住む街



STAFF

脚本・演出:佐野 壮文、戈 文来、本坊 健太郎
進行:山崎 拓矢、井岡 華子、内山 光太、江森 美由貴、川越 香奈、北川 万規衣、佐藤 叶美
Faiz、町田 慎弥／音響:石原 慎太郎、古谷 弘樹、まーちゃん／ビン:齋藤 陽一、清水 本典
田中 歩、名取 克浩／照明:津留 拓弥、めーみ／撮影(写真):今村 悟／撮影(ビデオ):南 佑子
中西 沙奈／受付・会場:梅田 貴央、居島 紫織、池端 友理、小林 由樹、永井 愛実、中西 沙奈
まさやん、真下 圭介、宮田 雅史／広報:長田 昌子、齋藤 陽一、武井 尚志、南 佑子、森藤 麻衣子
衣装:高嶋 さやか／メイク・ヘアメイク:長谷川 倫子、今村 三希子、関根 悠一朗
ダンス振付:山上 真由子／イラスト:加茂野 桂子

Special Thanks(敬称略/順不同)

株式会社 斎藤舞台照明、北区滝野川会館、福田 麻美、松戸奇術会
国立オリンピック記念青少年総合センター、庄や 参宮橋店
末永 彰、ぱわあ(ラニイ振付)、伊藤 龍樹(ねるくバルーン装飾アドバイザー)

ご挨拶

本日は夢奇房第10回公演「道化の歩いた道」にお越しいただき、誠にありがとうございます。
第10回公演を開催出来たのも、ひとえに皆様方のご支援のおかげと、メンバー一同厚く御礼申し上げます。
さて、今回の舞台は、人間でない何かが住む「ウラ道」。その「ウラ道」のどこかにある道化の村で暮らす少年が、人間の少女と出会い、「ウラ道」を旅する物語。二人の旅にはどんな出来事が待っているのでしょうか。
10周年を迎える夢奇房がお贈りする「道化の歩いた道」。お楽しみ下さい。

夢奇房キャプテン 佐久間 智嗣

夢奇房メンバー募集中!

夢奇房では2014年開催予定の第11回公演に向けて、共に夢を創っていく出演者・スタッフを募集しています。参加に必要なものは「舞台が好き」「舞台に関わってみたい」その気持ちだけです。今までの経験や、経歴は一切問いません。全くの素人から夢奇房に飛び込んできたメンバーもいます。知らない人ばかりで、大丈夫かな…と不安な方も、ぜひ一度、練習の見学にいらしてください。興味を持たれた方は下記の「連絡先」(@は半角で送信してください)までお問い合わせください。後日担当者から、練習日・集合場所を御案内させていただきます。皆様の参加を心よりお待ちしております。

夢奇房年間活動予定 (日程・内容は変更する場合があります)

4月～9月 月1回集まり、次回公演に向けての会議や練習を行います。その他、慰安旅行などのイベントもあります。

10月～12月 公演進捗確認／例会(月1・2回)

1月 全体練習

2月 全体練習＆公演本番

3月 反省会

1～2月は毎週末集まって練習やりハーサルを行う等、公演に向けて集中的に活動をします。

連絡先▶info@yume-kibou.com

夢奇房公式サイト▶http://www.yume-kibou.com/

夢奇房 で検索してください。

twitter 夢奇房公式アカウント▶@yumekibou_stage



夢奇房が見つけた、10個目の笑顔の種。

夢奇房 第10回公演 道化の歩いた道



ボクのおじいさんは、でっかい体と立派な赤鼻を持つ道化だった。おじいさんの笑顔はとても眩しくて、ボクはその笑顔を見ているときだけは、赤くも丸くもない、とがった自分の鼻の事を忘れられたんだ。

そんなある日、ボクは奇妙な奴に出会った。ボクと同じ鼻の形をした…いや、ボクより綺麗にとがった鼻の女の子。おじいさんから聞いたことがある。この村に続く「ウラ道」

に、本当は入ってきちゃいけない「人間」って奴だ。

そして、次の日。ボクは初めてこの村を出た。おじいさんは、いつもの笑顔と、いつもの言葉で僕らを見送ってくれた。

——深呼吸して、笑って進め。

これは、人間の女の子とボクが出会った、君たち人間が知らない「ウラ道の住人たち」の物語。



道化の村

クラウン OZ&クラウンかい／クラウンイット
ここは、道化の村。浮かれたやつらばかりが生まれる村。
いつもフラフラ旅している、クラウン OZ。
OZの幼馴染で、いたずらクラウンのかい。
奇妙な雑貨屋を営む、クラウンイット。
そして、とがった三角の鼻をしたルル。
物語は、この村からはじまる。

道化の村のはづれ

ピュータ

ながいなが一時を経ると、
魂を持たないモノにだって心が宿ることがある。
彼の名は、ピュータ。
いつかどこかで誰かに愛されたオルゴール人形。
思い出だけを心に宿し、
ピュータはもう動かない微笑のまま満月を見つめている。
それは、ふたりが出会ったひとつめの微笑。

ほのか
帆ノ夏
森の畔、ここは木漏れ日の庭。
ウラ道で最も気高い場所。
帆ノ夏は、庭の主であり、庭に咲く花そのもの。
この庭の華は、常に咲いては、常に散り、
そしてまた咲くを繰り返す…。

木漏れ日の庭

二ワ&ニハ
庭には二羽ニワとニハがいて、
朝を告げ、昼に踊り、夜にはしゃぐ。
ニワとニハは木漏れ日の庭に住む、ニワトリの兄妹。
ウラ道の奥の奥の、さらに向こう。
「鬼の棲家」に向け、その翼が、天を舞う。

鬼の棲家



ラニィ／クラン

聖に生きる妖精は、妖魔に恋に落ちた。
魔に生きる妖魔は、妖精に恋をした。
「正しさ」の剣は魔に生きるものを使い、
聖に生きるものは、妖魔の棲んでいた洞窟で、
今もその姿を想う。
それは種の理を超えた、想い。

悪魔の書齋

ルシット

悪魔は嗤う。そこに悦びがあるから。
悪魔は笑う。そこに喜びがあるから。
悪魔は、不幸になる魔法をかけるわけではない。
悪魔は嗤う。焼き尽くされるヒトの愚かさを。
悪魔は笑う。ひた向きな想いの純粋さに。



モノノケ横丁の酒場

アメ&ハレ
アメとハレは風船から生まれた雨粒と日向の化身。
涙を流している人には、
その優しい雨粒で悲しみを洗い流し、
つらい思いをかかえる人には、
その暖かな日差しで心を包み込む。
その人の、優しい気持ちが育つように。
その人の、暖かな笑顔が虹になるように。

ウラ道の野原



フシミ
酒が好きで、気まで、自由奔放な白き古狐。
一人酒に飽きたとき。気が向いたとき。
木漏れ日の森の奥の道を抜けて、
人間の世界へ向かう。
寝起きのフシミが嗅いだのは、
えもいえぬ香しい酒の香。



トモリビ

夜光虫は空を舞う。
誰のためかもわからない夜の細道で、
空を見上げれば、星の間に灯る光が舞う。
それは、時に道案内のように。
それは、時に迷わず道しるべのように。
今宵もウラ道の住人たちは、
夜光虫の光と共に、あなたのそばに潜んでいる。

ウラ道の空

オオヒト&木ノ芽

木漏れ日が行く手を照らす森の中、大きな人の護る道がある。その道の先は、人間の住む世界。
オオヒトの護る道を、ウラ道の住人ではない「人間」が通るために、あるモノが必要になる。
それは「種」。誰もが持っている、でも、ふとしたことで忘れてしまいそうになる、「種」。

デルカ／オドネル

神様も物の怪もオオカミ男も、
古今東西お酒が好きで、
旅の行く先をたずねるなら酒場でと、
昔から相場は決まっている。
ここは、愛想は良いけどほんの少し腹黒い、
タヌキおやじのデルカの酒場。
たっぷり真ん丸な満月の夜に、美女の客。
こんな夜に体に眠る野生が目覚めないわけがない。